

床板施工事例（写真集）

今回インタビューした床板の達人に提供していただいた施工事例の写真集。
床板づかいのヒントに。



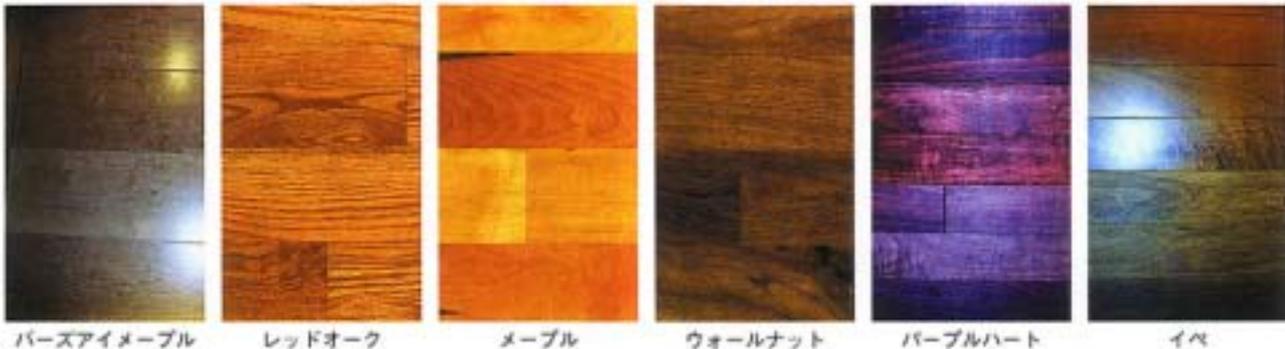
床暖房対応のカバ無垢フローリング。
厚さ 15×幅 75×長さ 1820mm。
ウレタン塗装でミズメザクラ風の色付けをしている。

丸嘉

2006/02
新建ハウジングプラス1 P-071 抜粋
写真出所：丸嘉

床板の選び方編

達人に聞く 失敗しない床板の選び方とトレンド



人気樹種の動向

輸入広葉樹[東南アジア・南米]

当社では東南アジアのソノケリン、南米のブラッドウッド、パープルハート、イペが圧倒的に売れている。ソノケリンのような黒に近い濃い色の樹種を、白い幅木とか色いドアに合わせていくようなデザインが多い。

製品はすべて、現地で加工したもの。価格は、ソノケリンが厚さ 15mm×幅 90mm×長さ 1820mmの縦継ぎユニット、無塗装で1ケース(半坪)1万2500円。以下、ブラッドウッドが15mm×75mm×1820mmの1枚もの無塗装で1万8500円、パープルハートが15mm×90mm×乱尺の無塗装で1ケース1万3000円、イペが15mm×90mm×乱尺のウレタン塗装品で1万4500円。必ずしも安くはない。

規格・仕様の動向

輸入広葉樹[東南アジア・南米]

幅広・濃色で床暖房対応 - 本来であれば、無垢フローリングに適さないような条件が好まれる。かつては、幅広材でもスギやパインなどの針葉樹に引き合いがあった。が、今は広葉樹に変わっている。

[小畑隆正氏]



2006/02

新建ハウジングプラス1 P-078 抜粋

写真出所：丸嘉

床暖房対応のカバ無垢フローリング（厚さ 15×幅 75×長さ 1820mm）。

デザインの潮流

フローリングの色付けについて指摘したのは菊池氏と小畑氏。自然の木目を楽しむだけでなく、キッチンや家具などに合わせてフローリングの色を選びたいというニーズが増えている。

日本でも色付けにニーズ

実際、フローリングにオプションで色を付けて欲しいという要望は増えている。今までは自然の木目そのまものが好まれたが「少し赤くしたい」「黒くしたい」といった要望が、去年の後半くらいから非常に多い。

当社が行う工場塗装は、工程がおよそ2週間、コストは1ケース（半坪）あたり2000円アップする。

色のバリエーションは調合次第。「欧州で買ったアンティーク家具とあわせたい」「使い込んだ風合いを出したい」といった要望にも応えられる。光沢は5分つや、3分つや、つや消し。

現在、床暖房対応を求めるユーザーの半数が色付けを希望する。

[小畑隆正氏]

今回アドバイスをいただいた床板の達人

小畑隆正 氏

(株)丸嘉(まるよし)

無垢フローリングのネット販売サイト「京都・木想商家」は、世界中から100種の製品をそろえる。

京都府京都市 TEL. 075-622-1408